

「スズメバチとの対決 (6)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka



二回目の薬剤噴射は、ほぼ成功した。しかし、巣の内部に数匹の残党がいることは間違いない。また成虫の残党だけでなく、幼虫やさなぎも間違いなく巣に残っている。

それを一網打尽にするには、この薬剤が最適と聞いた。その名もズバリ「スズメバチの巣を泡のジェットで徹底駆除」名称も秀逸だが、発想もすごい。要は、泡状の薬剤で巣の全体を覆ってしまい、丸ごと駆除してしまうという製品だ。散布後に内部に残った成虫が、巣口から外に出ようとしても、薬剤の泡の中を通らなくてはいけないので、そこで駆逐されるというわけだ。多くのプロの駆除業者も、この製品を使っているらしい。



写真は、第二回の散布終了数分後の巣の様子だ。巣の中から出てきた「残党」(成虫)は2~3匹のようだ。私は、これらが逃げ去らないうちに、時間を置かずに「泡ジェット」を実行することにした。



壁に垂直にはしごをかけて昇り、至近距離(約1m)から巣口に向けて、一気に泡を噴射した。薬剤の泡は巣を直撃し、強い粘度で巣にへばりついている。



巣口を中心に、できるだけ全体に泡を吹きかけた。噴射は約30秒。巣の表面にいた成虫も巻き込んで、逃げた成虫はほぼ0だったと思う。



数分後、泡は徐々に落下するが、巣口からは内部の成虫が次々と出て来る。しかし薬剤の泡に触れてその場で死に、どんどん垂直に落下していった。成功だ!